

2026 年 8 月 4 日

エアコン普及率の国際比較

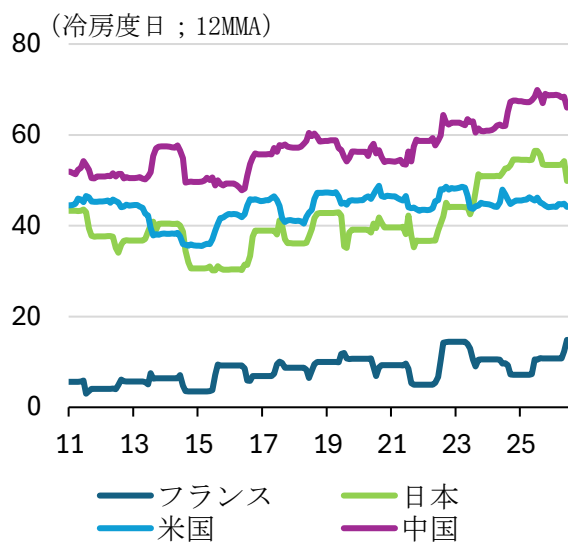
～日本は 9 割超、欧州や東南アジアは 3 割未満～

経済調査部 主席エコノミスト 前田 和馬

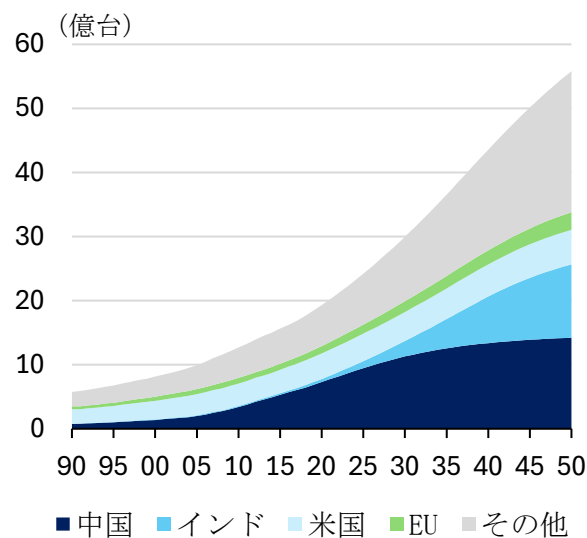
(Tel : 050-5473-3888)

- 連日の猛暑が続いている。日本に留まらず世界的に猛暑が頻発するなか、国際エネルギー機関（IEA）は世界のエアコン設置台数が 2025 年の 24 億台から 50 年には約 56 億台に達し、現状から 2.3 倍拡大すると予想する。
- エアコン需要は中国やインドなどのアジア諸国で拡大しており、これらの国々におけるエアコン普及率は上昇傾向にある。ただ、日本や米国の普及率が 9 割に達する一方、東南アジアやインドの普及率は 3 割以下に留まるなど、普及率の差は依然大きい。エアコン普及率は所得水準で大きく異なり、例えば東アジア・太平洋地域では所得上位 2 割の普及率が 79%に達する一方、下位 2 割は同 22%に留まる。
- エアコンによる世界の電力需要は、普及拡大と稼働率上昇を背景に 2015 年以降で約 50%増加した。また、新興国を中心に省エネ基準等が強化されず、安価だが低効率なエアコンの普及が継続する場合、IEA は 2050 年のエアコンによるエネルギー需要が 25 年から 2.3 倍へ拡大すると試算する。

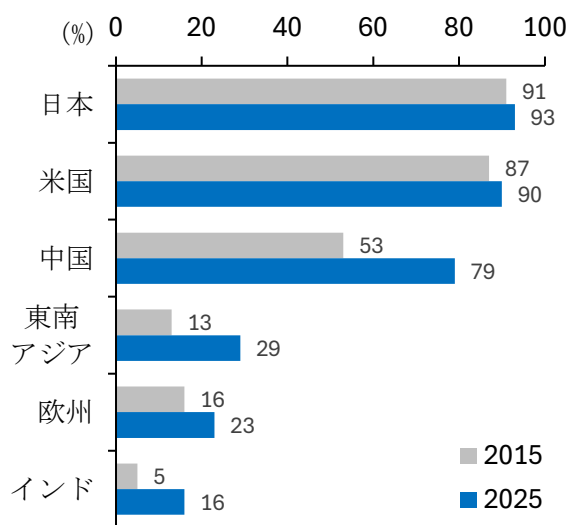
図表 1：潜在的な冷房需要（冷房度日）



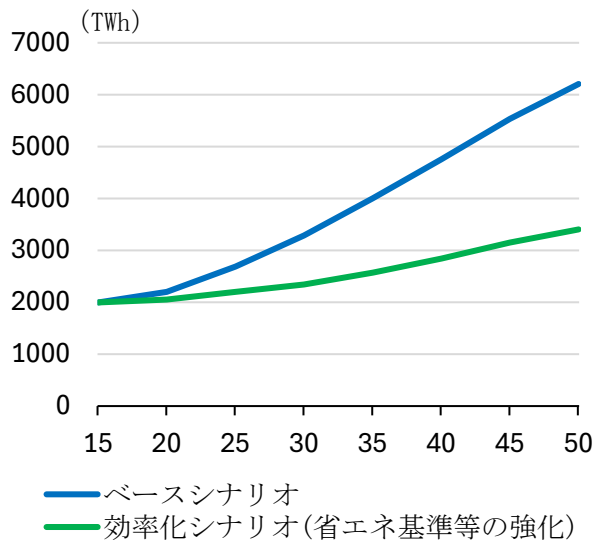
図表 2：世界のエアコン設置台数の予測



図表 3：家計におけるエアコン普及率



図表 4：エアコンによるエネルギー需要



注：図表 1：冷房度日は平均気温が 21 度を超える日において、その日の平均気温から 21 度を差し引いた累積合計（グラフは 12 か月移動平均）。

出所：IEA、Our World in Data より第一ライフ資産運用経済研究所が作成

【参考文献】

- ・ International Energy Agency (2018), “The Future of Cooling: Opportunities for Energy-Efficient Air Conditioning,” IEA, Paris.
- ・ International Energy Agency (2025), “Staying Cool Without Overheating the Energy System,” IEA, Paris.
- ・ International Energy Agency (2026). “Cooling a Hotter World: El Niño Meets Strong Growth in Global Electricity Demand,” IEA, Paris.

以 上